

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所
原子炉施設(JRR-3原子炉施設)
使用前検査成績書(その1-4)

[計測制御系統施設]

原子力規制委員会

使用前検査成績書

事業者及び事業者名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所		
検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 JR-R-3原子炉施設		
申請年月日及び申請番号	令和元年6月17日 令01原機(科研)003		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
寸法検査	令和2年4月 / 日	良	別紙-1, 2 のとおり
外観検査	令和2年4月 / 日	良	別紙-3, 4 のとおり
駆動検査	令和2年 4月 2日 4 10	良	別紙-5, 6 のとおり
		良	
スクラム時間測定検査	令和2年 4月 8日 4 10	良	別紙-7, 8 のとおり
		良	
設計変更の生じた 構築物等に対する 適合性確認結果の検査	令和2年 4月 10, 21, 30日 4 10	良	別紙-9, 10 のとおり
		良	
品質管理の方法等 に関する検査	令和2年 3月 3日 4 /	良	別紙-11, 12 のとおり
原子力施設検査官	別添-1のとおり		
検査立会責任者 (役職名)	別添-1のとおり		
備考	設工認申請書に記載されている試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則(昭和32年総理府令第88号)第3条の4第5号に基づく試験研究用等原子炉施設の性能検査をもって終了とする。		

令和3年2月3日

全ての設工認申請書に係る工事に対する使用前検査及び使用前事業者検査の終了を確認し、削除
松本武彦

検査年月日	原子力施設検査官	検査立会責任者 (役職名)
令和2年3月3日	松本武彦 大和田博幸	[Redacted]
令和2年4月2日 1 3	原子力検査官 早川善也 原力検査官 大和田博幸	[Redacted]
令和2年4月10日	原子力検査官 松本武彦 環境検査官 清水俊博	[Redacted]
年 月 日		
年 月 日		

検査前確認事項

検査年月日： 令和2年 4月 / 日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

検査項目：寸法検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
確認事項		確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
③	使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

寸法検査記録

検査年月日： 令和2年 4月 / 日

検査場所：J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
判定基準		結果	検査方法
管外駆動部の部品(可動コイル)の主要寸法が、設工認申請書(使用前検査要領書の添付資料-2「図1~図3」参照)に記載された値であること。		良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日： 令和2年 4月 / 日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

外観検査記録

検査年月日： 令和 2 年 4 月 / 日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
判定基準		結果	検査方法
管外駆動部の部品(可動コイル)に、機能上有害な傷、割れ及び変形がないこと（使用前検査要領書の添付資料-2「図1～図3」を参照）。		良	立会
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日：令和2年4月2日

検査場所：J R R - 3 原子炉施設

検査項目：駆動検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置	確認事項	確認方法	結果
		① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
		② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
		③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>				

検査前確認事項

検査年月日： 令和 2 年 4 月 10 日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

検査項目： 駆動検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

駆動検査記録

検査年月日： 令和 2 年 4 月 2 日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置																													
判定基準		結果	検査方法																											
全ストロークにおいて駆動操作した場合に管内駆動部を保持できること。		良	立会																											
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p> <p>・立会検査記録</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">検査対象制御棒 (制御棒駆動装置番号)</th> <th style="width: 20%;">結果</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Sa-1 (No. 41)</td> <td style="text-align: center;">良</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Sa-2 (No. 42)</td> <td style="text-align: center;">良</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-1 (No. 43)</td> <td style="text-align: center;">良</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-2 (No. 44)</td> <td style="text-align: center;">良</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-1 (No. 47)</td> <td style="text-align: center;">良</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-2 (No. 48)</td> <td style="text-align: center;">良</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予備品 1 (No.)</td> <td></td> <td>検査対象制御棒：</td> </tr> <tr> <td>予備品 2 (No.)</td> <td></td> <td>検査対象制御棒：</td> </tr> </tbody> </table>				検査対象制御棒 (制御棒駆動装置番号)	結果	備考	Sa-1 (No. 41)	良		Sa-2 (No. 42)	良		S-1 (No. 43)	良		S-2 (No. 44)	良		R-1 (No. 47)	良		R-2 (No. 48)	良		予備品 1 (No.)		検査対象制御棒：	予備品 2 (No.)		検査対象制御棒：
検査対象制御棒 (制御棒駆動装置番号)	結果	備考																												
Sa-1 (No. 41)	良																													
Sa-2 (No. 42)	良																													
S-1 (No. 43)	良																													
S-2 (No. 44)	良																													
R-1 (No. 47)	良																													
R-2 (No. 48)	良																													
予備品 1 (No.)		検査対象制御棒：																												
予備品 2 (No.)		検査対象制御棒：																												

駆動検査記録

検査年月日: 令和2年4月10日

検査場所: JRR-3原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
判定基準		結果	検査方法
全ストロークにおいて駆動操作した場合に管内駆動部を保持できること。		良	立会
備考			
本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			
・立会検査記録			
検査対象制御棒 (制御棒駆動装置番号)	結果	備考	
Sa-1 (No.41)		/	
Sa-2 (No.42)			
S-1 (No.43)			
S-2 (No.44)			
R-1 (No.45)	良		
R-2 (No.46)	良		
予備品1 (No.47)		検査対象制御棒:	
予備品2 (No.48)		検査対象制御棒:	

検査前確認事項

検査年月日：令和2年 4月 3日

検査場所：J R R - 3 原子炉施設

検査項目：スクラム時間測定検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
確認事項	確認方法	結果	
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良	
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良	
③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良	
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日： 令和2年4月10日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

検査項目：スクラム時間測定検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

スクラム時間測定検査記録

検査年月日：令和2年4月3日

検査場所：JRR-3原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
判定基準		結果	検査方法
スクラム時間(全ストロークの80%挿入時間)が1秒以下であること。		良	立会
備考			
本検査で使用した検査用計器を別紙-13、本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			
・立会検査記録			
検査対象制御棒 (制御棒駆動装置番号)	スクラム時間 (秒)	備考	
Sa-1 (No. 41)	0.478		
Sa-2 (No. 42)	0.477		
S-1 (No. 43)	0.473		
S-2 (No. 44)	0.475		
R-1 (No. 47)	0.471		
R-2 (No. 48)	0.481		
予備品 1 (No.)		検査対象制御棒：	
予備品 2 (No.)		検査対象制御棒：	

スクラム時間測定検査記録

検査年月日: 令和 2 年 4 月 10 日

検査場所: J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
判定基準		結果	検査方法
スクラム時間(全ストロークの 80%挿入時間)が 1 秒以下であること。		良	立会
備考			
本検査で使用した検査用計器を別紙-13、本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。			
・立会検査記録			
検査対象制御棒 (制御棒駆動装置番号)	スクラム時間 (秒)	備考	
Sa-1 (No.41)		/	
Sa-2 (No.42)			
S-1 (No.43)			
S-2 (No.44)			
R-1 (No.45)	0.470		
R-2 (No.46)	0.482		
予備品 1 (No.47)		検査対象制御棒:	
予備品 2 (No.48)		検査対象制御棒:	

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 4 月 3 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
確認事項		確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 4 月 10 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日 令和2年 4月 3日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
判定基準		結果	検査方法
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能の確認等（第5条） ・反応度制御系統及び原子炉停止系統（第31条第4項第1号、第2号） 		良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日 令和 2 年 4 月 10 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
判定基準		結果	検査方法
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能の確認等（第5条） ・反応度制御系統及び原子炉停止系統（第31条第4項第1号、第2号） 		良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日：令和 2 年 3 月 3 日

検査場所：J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
確認事項	確認方法	結果	
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良	
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-1 4に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日： 令和2年 4月 / 日検査場所： J R R - 3 原子炉施設検査項目： 品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日：令和2年3月3日

検査場所：JRR-3原子炉施設

<p>検査範囲</p>	<p>計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置</p>	
<p>判定基準</p>		<p>検査結果</p>
<p>工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。</p>		<p>継続</p>
<p>総合所見</p>	<p>当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。 次回以降の検査においても、継続して確認する。</p>	
<p>品質管理の方法等に関する所見</p>	<p>1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。</p> <p>2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。</p> <p>3 保安活動の実施</p> <p>4 保安活動の評価</p> <p>5 保安活動の改善</p>	
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>		

品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日： 令和2年 4月 / 日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計測制御系統施設の構造及び設備のうち 制御設備のうち 制御棒駆動装置	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		良
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や可否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。	
	3 保安活動の実施 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	4 保安活動の評価 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	5 保安活動の改善 ・予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。	
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。	

使用計測器一覽表

検査年月日： 令和2年 4月 3日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

1) 仮設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
/						

2) 本設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
スラム時間 測定検査	スラム特種 試験回路盤	CP015	0~999ms	±3%	令和2年2月7日 令和3年2月6日	
/						

使用計測器一覧表

検査年月日： 令和 2年 4月 10日

検査場所： J R R - 3 原子炉施設

1) 仮設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	

2) 本設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
スクラム時間 測定検査	スクラム特性 試験回路盤	CP015	0~999mS	±3%	令和2年2月7日 令和3年2月6日	

記 録 一 覧 表

検査年月日： 令和2年 3月 3日

検査場所：J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	・原子力科学研究所 品質保証計画書	QS-P10 2018年7月18日	(品)
2	・原子力科学研究所 品質目標管理要領 ・部の品質目標達成状況票 (H30年度)	(科) QAM-540 2019年3月29日	(品) (品)
3	・原子力科学研究所 調達管理要領 ・調達要求事項の確認 ・引合先の評価・再評価票 ・工程表 ・製作図	(科) QAM-740 2019年8月5日	(品) (品) (品) (品) (品)
4	・研究炉加速器技術部 業務の計画及び実施に関する要領 ・外部コミュニケーション記録 ・議事録	(科研) QAM-710 2019年12月4日	(品) (品)
5	・研究炉加速器技術部 設計・開発管理要領 ・設計管理計画(制御棒駆動装置の一部更新) ・設計の変更の記録(制御棒駆動装置の一部更新) ・設計要求の適切性の評価(制御棒駆動装置の一部更新) ・設計要求と設計結果の対比の記録(制御棒駆動装置の一部更新) ・設計の検証の記録(制御棒駆動装置の一部更新)	(科研) QAM-730 2019年9月2日	(品) (品) (品) (品) (品)
6	・制御棒駆動装置の一部更新 事業者検査要領書	(科研3) QAM-820-015 2020年1月15日	(品)

*備考欄の記載について

(寸)：寸法検査、(外)：外観検査、(駆)：駆動検査、(ス)：スクラム時間測定検査、(適)：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品)：品質管理の方法等に関する検査

記 録 一 覧 表 (1/2)

検査年月日：令和2年4月1日、2日、3日

検査場所：J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	・原子力科学研究所 品質保証計画書	QS-P10 2018年7月18日	(品)
2	・原子力科学研究所 品質目標管理要領	(科) QAM-540 2019年3月29日	(品)
3	・原子力科学研究所 調達管理要領	(科) QAM-740 2019年8月5日	(品)
	・調達要求事項の確認		(品)
	・引合先の評価・再評価票		(品)
	・JRR-3 管外駆動部可動コイルの更新契約仕様書		(品)
	・品質保証計画書		(品)
	・作業工程表		(品)
	・工場試験検査要領書		(品)
	・工場試験検査結果		(品)
	・作業日報		(品)
4	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科) QAM-550 2019年4月1日	(品)
	・第159回原子炉施設等安全審査委員会議事録		(品)
	・第167回原子炉施設等安全審査委員会議事録		(品)
5	・研究炉加速器技術部 部内安全審査会運営要領	(科研) QAM-550 2019年9月9日	(品)
	・平成30年度第26回研究炉加速器技術部部内安全審査会議事録		(品)
	・平成31年度第1回研究炉加速器技術部部内安全審査会議事録		(品)
6	・研究炉加速器技術部 業務の計画及び実施に関する要領	(科研) QAM-710 2019年12月4日	(品)

*備考欄の記載について

(寸)：寸法検査、(外)：外観検査、(駆)：駆動検査、(ス)：スクラム時間測定検査、(適)：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品)：品質管理の方法等に関する検査

記 録 一 覧 表 (2/2)

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考*
7	<ul style="list-style-type: none"> ・研究炉加速器技術部 設計・開発管理要領 ・設計管理計画(制御棒駆動装置の一部更新) 	(科研)QAM-730 2019年 9月2日	(品) (品)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力科学研究所 不適合管理及び是正 処置並びに未然防止処置要領 	(科) QAM-830 2020年4 月1日	(品)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・研究炉加速器技術部 試験・検査の管理要 領 	(科研)QAM-820 2018年 4月1日	(品)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・研究炉加速器技術部 教育・訓練管理要領 	(科研)QAM-620 2019年 3月15日	(品)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・保安活動に従事する者の力量評価表 ・制御棒駆動装置の一部更新 事業者検査 要領書 ・検査記録 	(科研 3) QAM-820-015 2020年3月18日	(品) (寸) (外) (駆) (ス) (適) (品) (寸) (外) (駆) (ス) (適)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・研究炉加速器技術部 監視機器及び測定 機器の管理要領 ・監視機器及び測定機器 管理台帳【使用 前検査】 	(科研)QAM-760 2018年 9月14日	(寸) (駆) (ス) (寸)
13	<ul style="list-style-type: none"> ・計測制御装置及び安全保護系の定期点検 試験検査成績書 	2019年9月30日	(駆) (ス)
14	<ul style="list-style-type: none"> ・JRR-3原子炉本体施設の定期点検 スクラ ム特性試験回路盤点検 	2011年12月15日	(ス)
15	<ul style="list-style-type: none"> ・JRR-3 本体施設作業要領 ・スクラム特性試験回路点検校正記録 	(科研 3) QAM-710-102 2020年2月5日	(ス) (ス)

*備考欄の記載について

(寸)：寸法検査、(外)：外観検査、(駆)：駆動検査、(ス)：スクラム時間測定検査、(適)：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品)：品質管理の方法等に関する検査

記 録 一 覧 表 (1/1)

検査年月日：令和 2年 4月 10日

検査場所：J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考*
1	<ul style="list-style-type: none"> ・制御棒駆動装置の一部更新 事業者検査要領書 ・検査記録（令和2年3月19日、26日） ・検査記録（令和2年4月7日、8日） 	（科研3）QAM-820-015 2020年4月7日	（駆）（ス） （適） （駆）（ス） （適） （駆）（ス） （適）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・研究炉加速器技術部 監視機器及び測定機器の管理要領 ・監視機器及び測定機器 管理台帳【使用前検査】 	（科研）QAM-760 2018年 9月14日	（駆）（ス） （駆）（ス）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・JRR-3 本体施設作業要領 ・スクラム特性試験回路点検校正記録 	（科研3）QAM-710-102 2020年2月5日	（ス） （ス）

*備考欄の記載について

（寸）：寸法検査、（外）：外観検査、（駆）：駆動検査、（ス）：スクラム時間測定検査、（適）：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、（品）：品質管理の方法等に関する検査